

2019年4月 キューバ医療事情

下記情報は当地報道を抄訳したものです。詳しくは原文をご参照下さい。

4月3日【CUBADEBATE】

“マタンサス県で HIV 予防剤の配布を開始”

マタンサス県カルデナス市で曝露前予防投与（PreP）の試験を開始した。この薬剤は未感染者における HIV 感染を予防する。毎日の服用にて感染に曝露されている人々の感染の危険性を 90%減少させると言われている。市の HIV/AIDS/肝炎予防プログラムの責任者は、危険性のある行動をとり、HIV の患者と接する機会が多い人々に無料で予防薬を配布すると述べた。これは汎米州保健機構（PAHO）との共同プロジェクトであり、長年に渡りキューバが行ってきた感染症を防ぐための活動を補うものとなる。薬の予防効果は高いが、梅毒や淋病といったその他の性病を避けるためにも同時にコンドームの使用を推奨している。このプロジェクトの要件に準拠した 28 人が承認され、パイロット・プランは 3 月 6 日カルデナス市で開始された。

カルデナス市では HIV 患者の増加が激しく、毎年 30 人の新たな患者が発生し、現在合計で 234 人が罹患している。マタンサス県の AIDS 患者の 60%を占めている。

4月8日【CUBADEBATE】

“La Pradera 国際保健センターが世界科学賞を受賞”

La Pradera 国際保健センターは 2019 年乳児科学分野で世界科学賞を受賞する。

今回の受賞は、人工内耳プログラムによって開発された子供を刺激するニューロポイント法の業績に対して行われた。これはキューバの子供達だけでなく国際的に有用である。

4月12日【CIBERCUBA】

“スイスの整形外科医がキューバ初の手首関節鏡手術を執刀”

著名なスイス人整形外科医である Stauble Daniel 医師がキューバで初めての手首関節鏡手術をキューバの整形外科チームと共同で行った。手術は Ciego de Ávila 県で行われた。Stauble Daniel 医師はキューバ人医師に彼の知識と経験を伝えることは喜びであると語り、今後手術が行えるよう、手術器具を寄付した。キューバでは膝などの関節鏡手術は行われていたが、手首は今までなされていなかった。Habana の Frank País 病院、Ciego de Ávila の Antonio Luaces Iraola 病院の 2 院のみが手首の関節鏡手術を承認されている。

4月24日【CUBADEBATE】

“モザンビークのサイクロン・イダイの被災者をキューバ人医師が支援”

3月中旬にモザンビーク、マラウイ、ジンバブエを襲ったサイクロン・イダイは、死者が1000人を超え、モザンビーク国土の60%が被災。国連のデータによると180万人がサイクロンで被災し、多くの方が家を失い、コレラに苦しんでいる。

3月29日より16人の医師と24人の医療専門家（看護師や検査技師等）の合計40人のキューバ人ボランティアは、ベイラ市で7つのテントに分かれて被災者の支援を開始した。キューバ人ボランティアは連日、検査や手術を行っている。